

第 4 次千葉県男女共同参画計画 平成 3 0 年度事業評価シート

No.14	男女共同参画に積極的に取り組んでいる事業所の表彰 (男女共同参画課)	………… 1
No.15	ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 (雇用労働課)	………… 2
No.16	働き方改革アドバイザーの養成及び派遣 (雇用労働課)	………… 3
No.17	“社員いきいき！元気な会社” 宣言企業の募集・公表 (雇用労働課)	………… 4
No.18	両立支援制度に関する周知広報 (雇用労働課)	………… 5
No.19	県職場における仕事と家庭の両立が可能な職場環境の整備 (総務課)	………… 6
No.25	千葉県男女共同参画地域推進員制度の充実 (男女共同参画課)	………… 7
No.26	ちば県民活動 P R 月間 (11/23～12/23) の実施 (県民生活・文化課)	………… 8
No.27	ホームページ、メールマガジンを活用した広報啓発 (県民生活・文化課)	………… 9
No.28	地域づくり情報広場における情報提供 (政策企画課)	………… 10
No.29	高齢者等の地域活動への参画支援 (高齢者福祉課)	………… 11
No.30	観光人材の育成支援 (観光企画課)	………… 12

重点的取組 (2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及促進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

14

事業名	男女共同参画に積極的に取り組んでいる事業所の表彰
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	②	施策番号	1
当初予算額計(千円)	47			決算額計(千円)	38		
事業の概要・目的	女性の登用・職域拡大や仕事と家庭の両立支援等に積極的に取り組んでいる県内の事業所を公募により募集し、表彰を行う。 また、受賞事業所については、千葉県男女共同参画推進連携会議 産業部会において、取組の発表等を行い、県のホームページに掲載するなど幅広く周知する。						
数値目標など							
指標名等	男女共同参画推進事業所表彰件数(累計)						
目標	34件以上	実績	34件				

2 事業の実施結果

6月から8月まで事業所の募集を行ったところ、3事業所からの応募があり、1事業所が奨励賞を受賞した。
 なお、奨励賞受賞事業所については、千葉県男女共同参画推進連携会議 産業部会において自社の取組を発表する予定である。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	女性の登用・職域拡大や仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組む企業を募集し、公表している。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	事業所を対象とした事業のため、該当しない。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	事業所を対象とした事業のため、該当しない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	事業所を対象とした事業のため、該当しない。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	女性の登用・職域拡大や仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組む企業の社名や取り組み内容を千葉県ホームページや男女共同参画推進連携会議(産業部会)等で広く紹介した。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<改善した点>
 千葉県男女共同参画推進連携会議構成団体等への広報用チラシの配布に加えて、商工関連団体に事業所の推薦を依頼することにより、表彰対象事業所の掘り起こしを推進した。

<課題・今後改善すべき点>
 応募事業所が少なくなっており、千葉県男女共同参画推進連携会議構成団体等の関係団体と連携し、事業所の掘り起こしに向けた取組を進めていく必要がある。

4 委員意見

「表彰」とは、表彰の目的を満した多くの企業が競い合い、その中から選ばれてこそ意味がある。表彰による魅力やメリット等を企業へ周知・広報すると同時に、複雑な手続き方法等を見直すなどの工夫を期待したい。
 今後は、施策番号17「社員いきいき！元気な会社」宣言企業の募集・公表」との連携や、県主催のセミナー参加企業等への情報提供、過去応募したが表彰に至らなかった企業への再チャレンジなど、きめ細かい啓発を行ってほしい。

重点的取組 (2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及促進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

15

事業名	普及セミナーの開催 (平成29年度より「ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催」)
担当課	雇用労働課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	②	施策番号	1
当初予算額計(千円)	160			決算額計(千円)	144		
事業の概要・目的	働き方改革について普及啓発を図るため、企業の人事労務担当者や一般県民等を対象として、有識者による講演や企業の事例発表等を盛り込んだセミナーを1回開催する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

働き方改革について普及啓発を図るため、企業の人事労務担当者や一般県民等を対象として、有識者による講演や企業の事例発表等を盛り込んだセミナーを1回開催した。
 ○ワーク・ライフ・バランスセミナー
 専門家による講演(企業の事例紹介を含む)等を内容とするセミナーを1回開催した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3	性に起因する問題に配慮したか	○	
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	ワーク・ライフ・バランスセミナーは、男女ともに有益な情報提供である。
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	専門家の意見や事例紹介等を通じて、広く働き方の視点から啓発を行った。	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○		

(2)改善点等

<改善した点>

ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する講演経験が豊富で、かつ、自ら時短勤務を行い仕事と育児の両立をしている講師を招き、自身の経験を交えた講演をしていただいたことにより、参加者の理解をより深めることができました。

<課題・今後改善すべき点>

来年度から施策コード16「働き方改革アドバイザーの養成及び派遣」の事業に統合。引き続き、同事業内で行われるセミナーにおいて、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの確保について、より多くの企業の人事労務担当者等の意識啓発を図っていく。

4 委員意見

働き方改革の普及啓発に向けて多くの課題を組み込んだセミナーの実施は、企業等に有益な情報を提供する場となる。引き続き、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの確保について、意識啓発に努めてほしい。
 今後の事業実施に当たっては、セミナー対象者の参加しやすい開催日時の設定や、参加者からのアンケート結果を反映するなど、きめ細かい配慮を期待したい。

重点的取組 (2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及促進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

16

事業名	両立支援アドバイザーの企業派遣 (平成29年度より「働き方改革アドバイザーの養成及び派遣」)		
担当課	雇用労働課		

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	②	施策番号	1
当初予算額計(千円)	16,640			決算額計(千円)	16,186		
事業の概要・目的	働き方改革への取り組みを希望する企業に対して、働き方改革アドバイザーを派遣し、業務改善等のアドバイスを行う。併せて、働き方改革アドバイザー派遣事業の活用を促すことを兼ねて、働き方の見直しに関心のある企業等を対象としたセミナー・シンポジウムを計3回開催、地域相談会を3回開催する。働き方改革の好事例集の作成・配付も行う。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

<p>働き方改革への取り組みを希望する企業に対して、働き方改革アドバイザーを派遣し、業務改善等のアドバイスを行った。併せて、働き方改革アドバイザー派遣事業の活用を促すことを兼ねて、働き方の見直しに関心のある企業等を対象としたセミナー・シンポジウムを計3回、地域相談会を5回開催した。働き方改革の好事例集の作成・配付も行った。</p> <p>○アドバイザー派遣:22社(延べ86回)</p> <p>○企業向け働き方改革セミナー 専門家によるセミナーを2回開催した。</p> <p>○ちば「働き方改革」公労使シンポジウム 働き方改革に関する有識者による基調講演、企業の事例発表、パネルディスカッションを内容とするシンポジウムを1回開催した。</p> <p>○地域相談会 働き方改革アドバイザーによる相談会を5回開催した。</p> <p>○好事例集の作成・配付:2000部</p>							
---	--	--	--	--	--	--	--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	性別を問わず、仕事と生活が両立できる職場環境の整備等の働き方改革を進めようとする企業を支援するため、専門家(アドバイザー)を派遣しようとするものである。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	企業を対象とした事業のため、該当しない。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	企業を対象とした事業のため、該当しない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	仕事と生活が両立できる職場環境の整備等の働き方改革に関するアドバイスを実施した。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<p><改善した点> アドバイザーの派遣について、セミナー等直接事業所に働きかけられる機会を利用して周知したほか、県民だよりや経済団体を通じ広報したことにより、多くの企業が働き方改革アドバイザーの利用を希望し、22社延べ86回の派遣を実施することができた。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 特に中小企業等において働き方改革の取組が進んでいないことから、引き続き、セミナーやシンポジウム等を通じて理解促進を図るとともに、希望する企業に対して働き方改革アドバイザーを派遣し、県内中小企業等の取組を支援していく。</p>
--

4 委員意見

<p>働き方改革関連法の順次施行に伴い、今後、特に中小企業への支援が必要となる。本事業は、外部委託であるため、担当課として事業効果が高まるように、委託事業者と意思疎通を図ることが重要になる。 今後は、前年度にアドバイザー派遣を行った企業へのフォローアップ事業等により、企業の取組や改善状況を確認するなどしてほしい。</p>
--

重点的取組 (2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及促進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

17

事業名	“社員いきいき！元気な会社”宣言企業の募集・公表
担当課	雇用労働課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	②	施策番号	1
当初予算額計(千円)	200			決算額計(千円)	146		
事業の概要・目的	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現できる社会づくりのため、仕事と生活の両立支援や誰もが働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を“社員いきいき！元気な会社”宣言企業として登録し、社名や取り組み内容を千葉県ホームページ等で広く紹介する。						
数値目標など							
指標名等	社員いきいき！元気な会社宣言会社数						
目標	780社	実績	822社				

2 事業の実施結果

- ・平成30年度新規登録事業者数 70社
- ・合計登録事業者数 822社(平成30年度末時点)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	性別を問わず、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を募集し、公表している。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	企業を対象とした事業のため、該当しない。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	企業を対象とした事業のため、該当しない。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	性別を問わず、誰もが働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業の社名や取り組み内容を千葉県ホームページ等で広く紹介した。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<p><改善した点> 働き方改革に関するセミナー等で本事業の説明を行うなど積極的な広報を行い、宣言企業の拡大に努めた。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 本事業の登録メリットなどを積極的に周知し、登録を通じて県内企業のワーク・ライフ・バランスの自主的な取組を一層促進していく。</p>
--

4 委員意見

本登録を受けることは、企業イメージを高めると同時に、労働者の確保と流出防止にもつながり、とても重要な事業である。取組企業の増加に向けて、より多くの目標を設定し、事業を推進することを期待したい。
また、登録した企業の積極性や意欲を評価し、ワーク・ライフ・バランスに関するセミナーや男女共同参画推進事業所表彰の情報を提供するなどして、企業の更なる成長につなげてほしい。

重点的取組 (2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及促進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

18

事業名	両立支援制度に関する周知広報
担当課	雇用労働課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	②	施策番号	2
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	企業の人事労務担当者や一般県民等を対象とした働き方改革に関するセミナー(ワーク・ライフ・バランスセミナー)の中で、両立支援に関する制度や助成金を周知する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

企業の人事労務担当者や県民を対象とした働き方改革に関するセミナー(ワーク・ライフ・バランスセミナー)の中で、両立支援に関する制度(“社員いきいき!元気な会社”宣言企業、働き方改革アドバイザー)や国の助成金制度の周知を行った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	両立支援制度は誰もが働きやすい環境づくりに資するものである。
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3	性に起因する問題に配慮したか	○	
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
実施結果・効果	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	両立支援制度に関する情報提供は男女ともに有益である。
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○		

(2)改善点等

<改善した点>

ワーク・ライフ・バランスセミナーにおいて、国の両立支援に関する助成金、“社員いきいき!元気な会社”宣言企業、働き方改革アドバイザーについての説明を行い、特に企業の経営者・人事労務担当者への周知を強化した。

<課題・今後改善すべき点>

働き方改革に関するセミナー等において引き続き、両立支援を含む働き方改革関連の制度や助成金等の周知に努める。特に、企業のより具体的な取組の促進を図るため、企業の経営者・人事労務担当者等に向けた周知を行う。

4 委員意見

本事業は、施策番号15、16、17の事業の実施結果である。次期計画では、施策番号15、16、17の事業に含めた上で、引き続き各事業の周知・広報に努めてほしい。

重点的取組 (2)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の普及促進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

19

事業名	県職場における仕事と家庭の両立が可能な職場環境の整備
担当課	総務課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	②	施策番号	3
当初予算額計(千円)	174			決算額計(千円)	71		
事業の概要・目的	職員がいきいきと意欲的に職務に取り組むため、仕事と家庭の両立、また、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)のとれた働き方のできる職場環境の整備を目指す。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

- ・育児休業取得者セミナーの開催(H30.8)
- ・各所属長に対して、男性職員の育児参加の促進に関する通知を发出(H30.8)
- ・リーフレット「男性職員の仕事と子育ての両立を応援します！」及び「イクボスチェックリスト」を各所属へ配布(H30.8)
- ・新規採用職員研修及び人事評価者研修において、「千葉県職員仕事・子育て両立支援プラン」及び育児のための休業・休暇等に関する制度について周知(H30.4～5)
- ・平成31年度の施行に向けた時差出勤制度の拡充
- ・在宅勤務及びサテライトオフィス勤務の試行(H30.7～8)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	全職員を対象として研修や育児休業取得者セミナーを実施し、制度の周知や職員の意識改革を図っている。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	男性職員が利用できる両立支援制度の周知や、男性の育児休業取得者の経験談の発表などを通じて、男女が共に子育てを担う意識の定着を図っている。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	男性職員の育児参加の促進により、子育て期のワーク・ライフ・バランスの啓発に貢献した。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

- <改善した点>
- ・働きやすい職場環境の整備に向け、7月24日から8月22日の1カ月間、在宅勤務及びサテライトオフィス勤務の試行を実施した。
- <課題・今後改善すべき点>
- ・セミナー、研修やリーフレット等を通じて、職員に対する制度の周知や管理職員の意識改革に取り組み、引き続き職員が育児に参加しやすい職場環境づくりに取り組む。
 - ・在宅勤務及びサテライトオフィス勤務について、試行の結果により明らかになった、事前事後の手続きが煩雑である等の課題に対応したうえで、再度試行を実施し、本格導入を目指す。

4 委員意見

情報の周知や職場環境の整備等、県自らがワーク・ライフ・バランスに取り組んでいることは評価できる。育児・看護・介護とも休暇等の制度整備は進んでいるものの、職員の意識の変容や職場環境の整備などは、具体的な対策が求められる。県の取組を県内企業にも好事例として広めるなど、働き方改革のモデルとなるよう事業を推進してほしい。

重点的取組 (3) 地域活動における男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

25

事業名	千葉県男女共同参画地域推進員制度の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	⑤	施策番号	1
当初予算額計(千円)	2,374			決算額計(千円)	1,405		
事業の概要・目的	本県における男女共同参画への取組状況や課題は地域によって異なることから、男女共同参画社会づくりを効果的に推進するためには、それぞれの地域特性を踏まえた取組が不可欠である。そのために、地域において県民や行政とのパイプ役となり、地域に根ざした活動を行う「男女共同参画地域推進員」を各市町村から推薦を受けて知事が委嘱することにより、県民、市町村、県が一体となった男女共同参画の推進を目指す。						
数値目標など							
指標名等	千葉県男女共同参画地域推進員設置市町村数						
目標	全市町村	実績	42市町村				

2 事業の実施結果

平成30年度末(第7期)において、42市町62名の地域推進員を委嘱している。 活動内容: (1)企画事業・会議: 県内6地域で地域推進員の企画による講座の実施や新聞の発行等を実施(12事業、参加者数705名) (2)研修会: 全体研修会「男女共同参画の基礎: 講演1回(参加者数88名(推進員52名、市町村職員36名)) (3)事業報告会: 各地域の一年間の活動報告を実施(参加者71名(推進員42名、市町村職員29名))

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	アンケートにより集計
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	中学校で「家事の役割分担」等をテーマに寸劇を実施
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	ワーク・ライフ・バランスの講座を実施
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<p><改善した点> 昨年好評だった講師を再度お招きし、連続講座を開催した。 防災分野にも重点を置き、九都県市合同防災訓練の参加を含め、全部で4つの事業を開催し、県民の防災に対する意識向上に貢献した。</p> <p><課題・今後改善すべき点> 市町村からの推薦により地域推進員を委嘱しているが、第7期(H30~31年度)は12市町において不在となる見込みである。 なお、地域推進員の構成が、60歳代から70歳代、また、女性に偏っているため、未設置の市町村に設置の働きかけを行うに当たり、子育て世代等の若い世代も含めた幅広い世代や、男性の割合も増えるような人選を働きかける必要があると考えている。 また、地域推進員の推薦に当たっての現状と問題点を把握するための方策についても検討する必要があると考える。</p>
--

4 委員意見

<p>各地域に地域推進員経験者が増えていくことは、市町村にとっても貴重な財産である。地域推進員が積極的に活動することにより、その存在及び活動が地域に定着し、また、推進員自身のやりがいや楽しさにつながることを期待したい。 また、地域推進員が幅広い世代に対応するため、若い世代も参画できる仕組みづくりを検討するなど、問題解決に向けた具体的な取組を行い、各地域での活動がより活発になるよう努めてほしい。</p>
--

重点的取組 (3) 地域活動における男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

26

事業名	ちば県民活動PR月間(11/23~12/23)の実施
担当課	県民生活・文化課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	⑤	施策番号	2
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	より多くの県民にNPOやボランティアのことを知っていただき、さらにNPO・ボランティア活動への参加につなげていくため、「ちば県民活動PR月間(11/23~12/23)」を設けて、この期間内に市町村やNPOと連携・協力して多様な普及啓発活動を県内各地域で集中的に展開する。						
数値目標など							
指標名等	ちば県民活動PR月間賛同行事数						
目標	20件	実績	29件				

2 事業の実施結果

ちば県民活動PR月間賛同行事として、期間内に開催される市町村・市民活動団体の普及啓発イベントの広報支援を、20市町で行われた24行事、市民活動団体5団体に行った。

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	データの集計は行っていないため。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	不特定多数の一般県民を対象とした。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	事業の目的がボランティアの普及であるため。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	男性・女性問わず、ボランティアの普及啓発を行った。

(2) 改善点等

<改善した点>
特になし

<課題・今後改善すべき点>
男女公平な施策の受益について、引き続き配慮したものとしていきたい。

4 委員意見

県民にNPOやボランティア活動を広く知ってもらうことは重要であるが、どのように男女共同参画の推進につながるのかは、検証する必要がある。
今後は、男女共同参画推進に対する目標を設定し、実績を評価するなど、事業をよりよいものにしてほしい。

重点的取組 (3) 地域活動における男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

27

事業名	ホームページ、メールマガジンを活用した広報啓発
担当課	県民生活・文化課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	⑤	施策番号	2
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	県内のNPO・ボランティア団体の運営や活動を進めるうえで必要な情報を収集し、提供するとともに、県民が自主的な地域貢献活動に参加しやすくするため、NPOやボランティアに関する情報を「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」やニュースレター、メールマガジンにより配信する。						
数値目標など							
指標名等	ニュースレター、メールマガジンの発行回数						
目標	月1回以上発行	実績	メールマガジン 24回発行				

2 事業の実施結果

千葉県NPO関連の情報や講座、協働事業や助成金、イベント、ボランティア募集の情報等を配信することにより、既にNPO・ボランティア活動に参加している人にも、これから参加したい人にも役立つものとした。 平成30年度においては、メールマガジンを24回発行した。なお、ニュースレターについては平成29年度より休止している。
--

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	ニュースレター、メールマガジンの購読者のデータの集計は行っていないため。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	女性、男性を問わず、希望者への情報提供となっている。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	事業の目的がボランティアの推進であるため。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	事業の目的がボランティアの推進であるため。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	女性、男性を問わず、希望者への情報提供となっている。

(2) 改善点等

<p><改善した点> 特になし</p> <p><課題・今後改善すべき点> 男女公平な施策の受益について、引き続き配慮したものとしていきたい。</p>
--

4 委員意見

<p>NPO・ボランティア団体に関する情報を、積極的にメールマガジン等により配信していることは評価できる。しかし、メールマガジンの性質上、配信する内容と県民のニーズが合致しているかどうかの把握は困難である。 今後は、読者の声を聴く場を設けたり、様々な活動で得られたアンケートを参考にするなどして、本事業を地域活動における男女共同参画の推進につなげてほしい。</p>

重点的取組 (3) 地域活動における男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

28

事業名	地域づくり情報広場における情報提供
担当課	政策企画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	⑤	施策番号	2
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	地域活力の向上を目的に、各地域で活動している地域づくり活動団体の特色ある取組を中心に、インターネットを通じて情報提供することで、団体相互の交流・連携を促進するとともに、地域活動へ興味がある県民へ向けての紹介の場とすることで、県民の地域活動を活性化させることを目指す。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

地域づくり情報広場に、市町村からの推薦による各地で活躍している地域づくり活動団体279組掲載した。また、本サイトへの平成30年度のアクセス件数は、68,461件である。

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	性別に関わりなく、地域づくりに取り組む団体の活動を広く掲載し、閲覧に供している。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	インターネットを活用して情報提供することで、利用者の都合にあわせて活用することができる。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	地域づくり活動団体の代表者の性別及び構成員の男女別人数について掲載している。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	性別に関わりなく、地域づくりに取り組む団体の活動を広く掲載し、閲覧に供している。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	男女の地域づくり活動への参加促進に寄与するため、地域づくり活動団体の代表者の性別及び構成員の男女別人数について掲載している。

(2) 改善点等

<改善した点>
 地域づくり活動において、性別の偏りが無い参画を促進するため、地域づくり活動団体の代表者の性別と構成員の男女別人数について引き続き掲載している。

<課題・今後改善すべき点>
 女性・男性の参画を更に推進していくため、最新の情報に更新していくことが必要である。

4 委員意見

県のホームページに、各市町村で地域づくり活動をしている団体を集約して情報提供するなど、数多くの活動団体の概要を掲載していることは評価できる。
 ホームページには、各団体の構成員の男女別人数は記載されているが、更に掲載情報を精査し、男女共同参画推進の視点を加えてほしい。

重点的取組 (3) 地域活動における男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

29

事業名	高齢者等の地域活動への参画支援
担当課	高齢者福祉課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	⑤	施策番号	3
当初予算額計(千円)	265,090			決算額計(千円)	265,090		
事業の概要・目的	千葉県生涯大学校において、 ○学習について、地域活動に係る内容を主に行う。 ○指定管理者による運営協議会に出席し、管理運営について連携を図る。 ○指定管理者、市町村による市町村連絡会議の開催により、情報共有を図る。 ○各学園にコーディネーターを配置し、卒業生の地域活動の参加を支援する。 ○各学園に卒業生団体を組織化するよう努める。						
指標名等	数値目標など						
指標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

卒業生の地域活動を支援するため、11名(うち女性2名)のコーディネーターを各学園に配置し、体験学習先の確保や地域活動情報の収集、学生への情報提供等を実施した。また、高齢者の社会参加を支援するための知識や技術、ノウハウの提供などを行った。

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	入学者データ上に存在する
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	男女の別なく入学生募集を行っている
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2) 改善点等

<改善した点>

平成29年度に学部名が「地域活動学部」から「健康・生活学部」に改称されたことに伴い、30年度は2年次の健康づくり講座を充実させ、より実践的な「健康づくり」・「介護」・「子育て」・「まちづくり」・「災害」等をテーマに、演習と実技を組み合わせた、高齢者のニーズに合わせた講座とすることができた。

<課題・今後改善すべき点>

高齢者の社会参加を促進するため、より地域との連携強化を図る。

4 委員意見

千葉県生涯大学校への入学者募集から講座の実施まで、県は、事業の目的や地域における男女共同参画の視点を踏まえ、指定管理者と共に事業を推進してほしい。
 今後、コーディネーターの配置に当たっては、男女共同参画推進の視点をもって男女の比率を考慮し、女性の登用を意識してほしい。

重点的取組 (3) 地域活動における男女共同参画の推進

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート(様式)

施策コード

30

事業名	観光人材の育成事業
担当課	観光企画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	⑤	施策番号	4
当初予算額計(千円)	11,500			決算額計(千円)	11,057		
事業の概要・目的	外国人観光客の増加が見込まれるため、外国人観光客にも満足いただけるような先進的なおもてなしについて情報を共有する研修及び外国語観光ボランティアガイドを養成するための養成講座を実施する。 実施内容 ・海外観光ゲストへのおもてなし力向上事業 ・外国語観光ボランティアガイドの養成講座(東京オリンピック・パラリンピックに向けた受入態勢の整備事業)						
数値目標など							
指標名等	千葉県総合計画(海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修受講者数)						
目標	329	実績	194				

2 事業の実施結果

今後東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人観光客の更なる増加が見込まれるため、外国人観光客にも満足いただけるような先進的なおもてなしについて情報共有する研修「海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修」を実施し、また、外国人観光客の受入体制整備を図るため、「外国語観光ボランティア養成講座」を実施した。
 ・「海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修」全14回開催、受講者194名
 ・「外国語観光ボランティア養成講座」3地域各1回開催、受講者51名

3 評価

(1) 男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	-	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	受講申込時に記入欄があり、集計した。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	男性・女性問わず、受講者を募集し、人材育成を行った。

(2) 改善点等

<改善した点>
 「海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修」: 観光・宿泊施設の事業者を対象に、外国人観光客に対応するためのICT機器の紹介や障がい者・高齢者を含めたユニバーサル対応の研修を新たに追加し、実施した。

<課題・今後改善すべき点>
 「海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修」: 研修について観光・宿泊施設の事業者などに十分に情報が伝わっていなかったことが、目標を達成できなかった要因として考えられる。今後は、事業者に直接周知するなど、研修参加の意欲を喚起していく。
 「外国語観光ボランティア養成講座」: 外国人観光客の増加が見込まれている地域や観光ガイド活動に積極的な地域を対象に、外国人観光客向けの現地研修を強化し、実践的な外国人対応の向上を図る。

4 委員意見

東京オリンピック・パラリンピックが目前となる中、海外観光客を受け入れる環境が、まだ不十分な中小のホテルや旅館等を中心に「おもてなし人材」の育成を行うなど、大変貴重な事業である。
 今後は、参加者増加の工夫に加え、本事業が地域活動における男女共同参画の推進にどのような影響を与えているのか、検証を期待したい。